



～「団結」の葵流祭～

校長 三田 和弘

皆様の支えにより、実りある葵流祭(体育の部・文化の部)となりました。当日は、多くの皆様に応援をいただき、また発表を聴いていただきました。ありがとうございました。

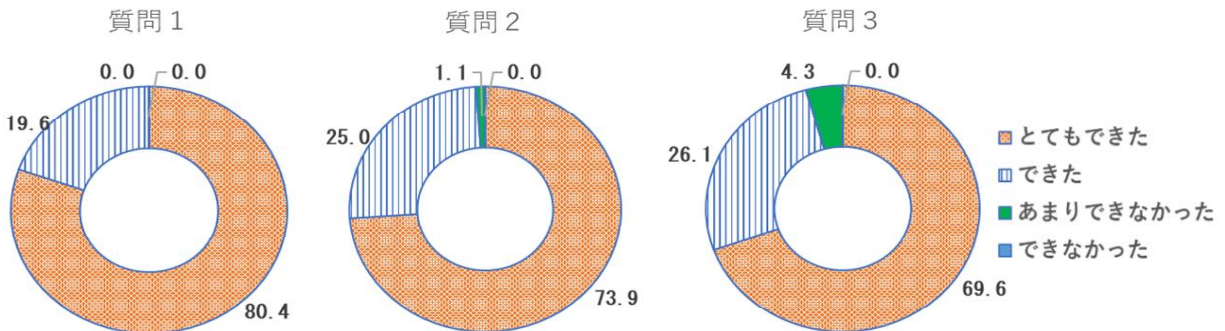
限られた時間の中で仲間と共に一つのことをやりとおし、成果を上げるためには、思うように進まないことが多々あります。行事を通して、級友や上級生・下級生とかかわりながら、一人一人の生徒が多くのことを学んだことと思います。ひたむきな努力のその先に待っていた「団結」の喜びを、多くの生徒が感じた学校祭だったと振り返っています。

以下に生徒アンケートを掲載します。

[質問1] 葵流祭を通して、仲間と協力し、連帯感を深めることができたか。

[質問2] 葵流祭に対して、主体的に取り組むことができたか。

[質問3] 葵流祭を通して、達成感や成就感を感じることもできたか。

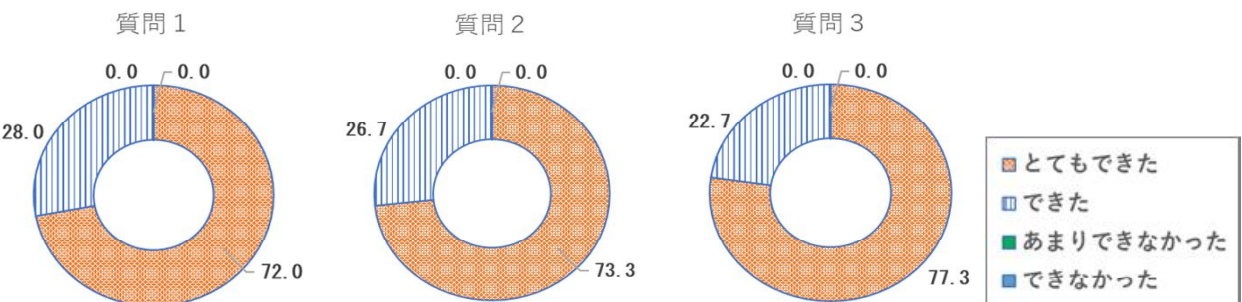


以下に保護者からいただいた、アンケートを掲載します。

[質問1] 子どもたちは、葵流祭を通して、達成感や成就感を感じていたか。

[質問2] 子どもたちが主体的に活動し、「生徒の手で創り上げる葵流祭」になっていたか。

[質問3] 子どもたちは仲間と協力し、クラスや学年、縦割りで連帯感を深めていたか。



- ・生徒一人一人が生き生きとした表情をしていました。自分のチームだけでなく相手チームとも、競技に出ない生徒同士で仲良く話したり、応援したりしている姿が印象的でした。
- ・練習の成果がよくわかりました。人数が少ない中でも歌に込めた想いがしっかり伝わりました。
- ・どの生徒も頑張っていて取り組んでいたと思います。また、車で帰るときすれ違う生徒がみな『ありがとうございました』と御礼を言っていたのがとても良かった。

・保護者が子どもの成長を見られる場です。一人一人の成長が垣間見れたと思いました。

葵流祭では、120人を超える保護者の皆様から声援をいただき、本当にありがとうございました。多くの皆様のご声援をいただき、生徒のエネルギーになっていると感じます。1日開催についての是非、勝敗をつけることへの賛否など、検討すべき御意見もいただきました。

皆様の声を励みとして、今後も「手をかけ、目をかけ、声をかけ、心をかけて」生徒の指導・支援を行っていきます。

～天城学習発表会実施～

「ふるさと天城がずっとすばらしいふるさとであるためには、どうしていったらよいのか」という大きなテーマのもと、自分はどうしていくべきかという学びが「天城学習」です。この課題について、福祉、自然環境、防災、キャリア、他地域の実践などを視点として、調査し、情報を整理してまとめ、表現するなかで、また次の課題を見つけていく学びの連続があります。1年生から3年生まで、系統立てて「総合的な学習の時間」を学んでいる本校の誇りでもあります。

11月10日(金)に天城学習発表会を行いました。発表会では、この学習を通して、天城や伊豆市の現状や課題を知るだけでなく、豊かな自然、ジオサイトをはじめとする「天城」だからこそのよさや豊かさを、中学生の視点で感じ取っていると実感します。特に3年生は、伊豆・天城がもっている素材のよさをもっと活かす工夫など、伊豆市役所総合政策部長 新聞康之様に提言を行いました。

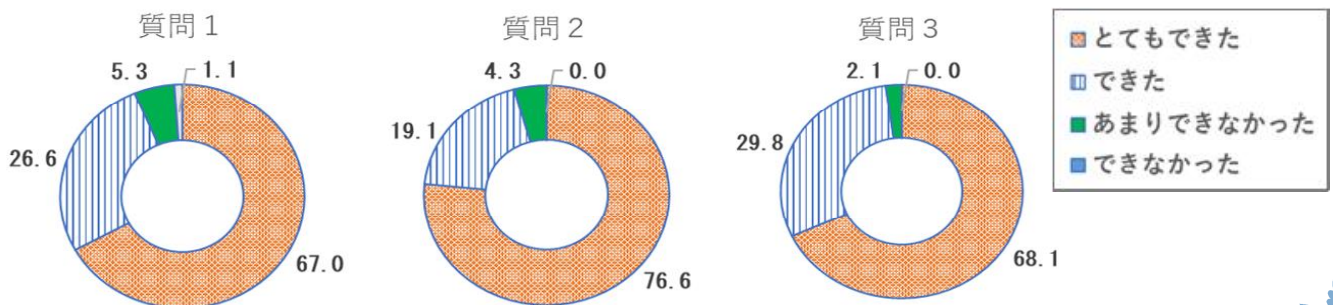
また、天城学習は多くの地域の方々の手を借りて、成り立っています。地域のために学習するならばと、喜んで手を貸して頂ける天城地区をはじめ、伊豆市の地域の皆様に深く御礼申し上げます。

以下に生徒アンケートを掲載します。

[質問1] 天城学習は自分のためになる活動か。

[質問2] 天城学習は地域の活性化、持続可能な社会のために役立つ学習だと思うか。

[質問3] 天城学習で自分の考えや調べたことを伝えることができたか。



「誰か」のこと じゃない

12月4日(月)から12月10日(日)までの1週間は「人権週間」です

昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間を「人権週間」と定め、昭和24年から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

いじめや虐待、性被害等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落差別(同和問題)、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。

これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

(以上 法務省HP (<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken03.html>)より)

今年も12月4日(月)から12月10日(日)の1週間を「第75回人権週間」と定め、人権啓発活動を行います。この人権週間をきっかけに、天城中学校でも改めて人権について考えていきたいと思えます。

挑め ～1人1人が心を燃やし、勝利の道へ～



3年生最後の葵流祭

葵



縦割り色別対抗リレー



宅急便リレー

流



スローガン・シンボルマーク



表彰

祭



選手宣誓



英語スピーチ



英語スピーチ

今年の葵流祭は、午前文化の部、午後体育の部と1日での開催となりました。全校生徒が創り上げた最高の舞台となり、中学生一人一人が輝く姿を見ることができました。



素敵な歌声。。

合唱



～ふるさと伊豆・天城～
 いっまでもすばらしい故郷であるためにはどうしていったらよいか

天

城

学

習



各学年、ふるさと天城の発展のために、今何が必要かを知り、自分のできること、地域で続けていきたいことについて考え、地域から学び、地域の魅力を発信することができました。